脊椎専門外来の開設および SCS（脊髄刺激療法）導入のお知らせ

当院では、患者の皆様により専門的で質の高い脊椎疾患の治療をお届けするため、
2026 年 12 月 8 日（火）より脊椎専門外来を新設し、診療を開始いたします。

整形外科領域の高度な脊椎手術はもちろん、従来の治療では改善が見られなかった慢性痛にお悩みの方に向けた先進的な SCS（脊髄刺激療法）にも対応しております。
どうぞお気軽にご相談ください。

📌 診療・治療のご案内

- **診療開始日：** 2026 年 12 月 8 日（火）～
- **主な診療・対応分野：**
  - 頸椎・腰椎ヘルニア、脊柱管狭窄症などの脊椎疾患全般
  - 整形外科による脊椎手術
  - 難治性・慢性脊椎痛に対する治療（SCS：**脊髄刺激療法**）

💡 先端治療のご紹介：SCS（脊髄刺激療法 / Spinal Cord Stimulation）

薬物療法や従来の注射・リハビリ等で十分な効果が得られなかった**難治性の慢性脊椎痛**や**脊椎手術後疼痛症候群**の患者様を対象とした最先端の治療法です。
脊髄に微弱な電気刺激を与えることで、脳に伝わる痛みのシグナルをブロックし、痛みを効果的に和らげます。

- **お問い合わせ：** 主治医または病院スタッフにお尋ねください。
- **担当医：** 平塚 重人 医師（脊椎専門）

病 院 長

脊髄刺激療法（SCS）とは…

脊髄に微弱な電気刺激を与えて慢性的な痛みを緩和する治療法です。

◎治療の仕組み

脊髄刺激療法は、脊髄の近くに細い電極（リード）を設置し、微弱な電気刺激を流すことで、痛みの信号が脳に伝わるのを抑制します。これにより、痛みを感じにくくし、代わりに心地よい感覚が脳に伝わるため、鎮痛効果が得られます。痛みの伝達には末梢神経から脊髄を経由して脳に届く電気信号が関与しており、SCS はこの過程に介入して神経の異常な興奮を調整します。

◎適応症

SCS は主に以下の痛みに有効です

- **神経障害性疼痛**：神経の損傷や異常によって生じる痛み
- **血行障害性疼痛（虚血痛）**：末梢血管の血流不良による痛み
  薬物療法や手術で十分な効果が得られない難治性の慢性疼痛に対して検討します。

◎手術と装置

SCS は小手術で行われ、以下の構造で成り立っています

1. **リード（電極）**：脊髄の硬膜外腔に挿入され、電気刺激を伝えます。
2. **刺激発生装置（インプラント型）**：腹部や腰回りに植込み、電気信号を生成します。
3. **体外コントローラー**：患者が刺激のオン・オフや強さを調整可能
   手術は通常、局所麻酔または全身麻酔下で行われ、リードの位置や刺激強度は患者の症状に合わせて調整されます。充電式の装置では定期的に充電が必要です。

◎効果と注意点

- SCS は**痛みを和らげる治療**であり、痛みの原因を根本的に取り除く治療ではありません。
- 効果はリードの位置や刺激設定に左右され、術後の注意事項を守ることが重要です。
- 患者はリモコンで刺激を調整でき、日常生活の改善（睡眠、歩行、活動量の向上）が期待されます。
- すべての痛みに効果があるわけではなく、医師による適応判断が必要です。脊髄刺激療法は、慢性的な神経障害性疼痛や血行障害性疼痛に対して、薬物療法では得られない鎮痛効果を提供する先進的な治療法として、日本でも多くの患者に用いられています。

ご相談・お問合せは、担当医師または病院スタッフにお申し出ください。

病院長